

羽田空港で「もつと！海外へ2019」開催 世界17カ国43団体・企業が出展

3月22日(金)から24日(日)の3日間、羽田空港国際線旅客ターミナルで「もつと！海外へ2019」羽田から世界へ」が開催されました。これは

東京国際空港ターミナル主催、観光庁と日本旅行業協会(JATA)後援のもと行われ、2回目となる今年是一般消費者や出発前の旅行者など、3日間で3万6850人が来場しました。

イベントは海外旅行ビギナーには海外をもっと身近に感じてもらう、リピーターに対しては次の旅行先となり得る情報提供を目的としたものです。会場となった同空港ターミナル3〜5階の一般スペースにはデルタ航空や日本航空などの航空会社、在日各国大使館や政府観



イベント会場のエントランス



ステージではクイズ形式のセミナーも行われました

光局、旅行代理店など、世界17カ国43団体・会社がブースを設け、各国々の情報や会社の旅行商品についてのアピールを行いました。

今回は主要イベントの一つとして「世界のパンマーケット」を開催。これは「旅するパンマニア」として知られる片山智香子氏がプロデュースした世界6カ国のパンを紹介するもので、4階のTIA Tスカイホール・ホワイエに設けられたブースには、わざわざ買い求めにきた消費者の姿も見られました。4・5階に設けられたステージでは観光局や航空会社のセミナーやPRイベント、写真家の中川知氏や航空写真家のチャールズ古庄氏らが登場してのトークショ

ーが行われ、参加者は興味深そうに耳を傾けていたほか、デルタ航空と日本旅行が開催したデイズリーリゾートについてのセミナーは平日の日中にもかかわらず、子どもをつれた女性や若い女性などで40席が満席となる盛況でした。

JOTC・航空会社インタビュー 第7回

ラタム航空グループ

山田 剛 日本地区副支社長

マチュピチュ、ウユニなど 南米の主要観光地路線を強化

ラタム航空グループは2016年にチリのラン航空(LA)とブラジルのTAM航空(JJ)が合併して誕生した、南米最大級の航空グループ。アメリカのロサンゼルスまでは日本航空(JL)と共同運航を行い、そこから先の南米各地へは、同社ならではのネットワークを活かした送客を行っています。日本市場に対する取組について日本地区副社長の山田剛氏に伺いました。



—日本市場の需要拡大に向け、重点的に取り組んでいることについて教えてください。

山田 まず南米内路線のみならず、いかに当社の長距離路線(南米とアメリカ・メキシコ、ヨーロッパ、オーストラリア・ニュージーランド)の需要を増やしていくかということです。そのため、長距離路線をご利用いただくことにより、ラタム最大の強みである南米内のネットワークを、より便利にお得な料金で提供しています。グループに対してはロサンゼルス、ニューヨーク、メキシコシティやヨーロッパ各地を起点とするグループ運賃を利用することで使えるアドオン料金を設定しています。また個人のお客様にはコードシェア便を利用した日本発南米行き料金や、ラタムの北米・ヨーロッパ・オセアニアと南米間の運賃を購入いただいた方がご利用可能なサウス・アメリカ・エアバスが好評です。

—ラタム航空グループの最新情報を教えてください

山田 2019年7月1日より、クスコ(ペルー)/ラパス(ボリビア)間に週5便の直行便を就航します。クスコはマチュピチュ、ラパスは

ウユニ塩湖への玄関口で、南米で最も人気のある観光地を効率よく結ぶことが可能となります。また唯一当社が運航している人気路線のリマ/イグアス直行便を週6便に増便し、月曜日を除く毎日ご利用いただけることとなります。

現在当社の長距離路線は、ボーイング787・767やエアバス350を中心に運航していますが、今後約3年間で4億ドル相当の予算を投入し全体の約3分の2に当たる約200機の航空機をリノベーションします。プレミアムビジネスクラスでは、よりよい休息や仕事に集中できる環境を提供するため、プライバシーを尊重するデザインに。エコノミークラスでは人間工学に基づいて設計された座席に12インチのシートバックスクリーンを配置し、長時間のフライトも快適にお過ごしいただけるデザインとなる予定です。

ラタム航空グループ
TEL 03-5695-1642

※インタビューの全文はJOTCのホームページ
(<http://www.jata-net.or.jp/outbound/>)でお読みいただけます